



ユニバーシアード

タイ・バンコク

↑ 守備、攻撃共に、日本のキーマンとなった菊地

4連覇ならず

第24回ユニバーシアード2007が8月7日から17日までタイ・バンコクで行われ、菊地が4試合、高崎が5試合に出場した。日本は予選Gグループを全勝、決勝T進出を決めた。初戦で前大会、前々大会共に決勝で当たっているイタリアにPK戦の末惜敗。続く順位決定戦対・イギリスではイタリア戦でPKを外した菊地の汚名返上弾も決まり、快勝。メキシコとの5位決定戦もPK戦までもつれ込んだが勝利した。4連覇は成らなかったが、最終順位は5位とし、本大会を締めくくった。

写真提供・AMAZING VIEW KOMAZAWA



← イタリアDFを振り切る高崎

勝負の夏～練習試合～



▲8月11日、対西武台高にて志田兄弟対決が見られた。(左)弟、(右)兄・志田亮輔

7月						
月	火	水	木	金	土	日
					15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					
8月						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	9/1	2
*0...練習試合						
近年まれに見る練習試合の多さであった。						

後期に向けて
 今年の夏は例年の走りこみと、前期リーグ戦、天皇杯予選などで出た課題を修正するべく、多くの練習試合を行った。練習試合序盤、課題であった守備では相手を無得点に抑えるなど改善が見られた。攻撃面でも日替わりでヒーローが誕生するなど、いい面が見られる一方で、チャンスを作るものの決めきれないという試合も多々見られ

た。8月に入り、春季関西リーグ王者のびわろ大には敗れたもののそれ以外の試合では勝利を収め、後期につながる試合を見せた。また、安定した守備を支えた金や多くのゴールを奪った梶など一年生の活躍が目立っていた。練習試合を通し、チームとして層の厚さが増すなど、後期に向け充実した夏となった
 (窪寺裕太)